

～海を育む水源の森に～
JTの森積丹
 積丹町 × JT

町とJT（日本たばこ産業㈱）が共同で保全活動を行っている町有林「JTの森積丹」美国川流域エリアで、6月30日、町民とJT社員ら200名が参加し、森林整備活動と体験活動が行われました。

森林が育む自然環境調査

森林の現況調査を体験

タコ・イカなど積丹町の浜の食材がたっぷり入ったカレーライスを堪能した昼食の後、森の課外授業と森林体験活動が行われました。

森林体験活動では、土を掘り起こしてどんな生物がいるのかを確認する「自然環境調査」、カラマツ林の現況を調査する「森林調査」や「木の葉のしおりづくり」など、長い時間をかけた森林づくりや、森林が育む生態系の一端を体験した参加者は、この秋の保全活動での再会を約束し、記念撮影のあと解散しました。

3回目の保全活動には

200人が参加し交流

昨年からはじまった活動は今回で3回目となります。

開会式を終えた参加者は、グループに別れ、昨年、春に植樹したトドマツ林の下刈り作業を行いました。

20〜30センチ程度の樹高のトドマツの周りには笹や草などが生い茂っており、トドマツの生長に必要な日当たりを良くするには、笹などの刈り取りが重要な作業となります。参加者は、後志総合振興局森林室職員らの指導を受けた後、鎌を手に作業を行うとともに、自分が植えたトドマツを探し出し生長を確認し、記念撮影をするなどしました。



トドマツ林の
下刈り作業



森林調査
(木の高さを調べる)

JTの森積丹では、「ほっかいどう企業の森林づくり」制度による、森林づくりが行われています。

平成23年度は、美国川流域エリアにおいて、下記3事業がJTの支援（総額1,768,975円）を受けて実施されました。

1. 長期育成伐採（更新伐）



林業機械による造材作業

カラマツ林（林齢60）の一部を更新のために伐採し、残ったカラマツは伐期を延長し、長期育成します。

伐採したカラマツ材は、東日本大震災の復興支援として仮設住宅の杭丸太として供給したほか、野塚ふれあい交流館の建築材料として利用されました。

事業費	道補助金	町負担(JT支援)金
1,281,000円	871,080円	409,920円

2. 樹下植栽



植樹前の地拵え



トドマツ植樹状況

上記1での伐採跡地2.5haのうち、昨年春に行われたJTの森の保全活動では0.5haにトドマツ1,100本を植樹しています。

この事業では残った2haの伐採跡地に、トドマツ3,260本を植樹しました。植樹したトドマツ林は、今後、下刈りなどの保育作業を行っていきます。

事業費	道補助金	町負担(JT支援)金
2,583,000円	1,690,987円	892,013円

3. 間伐



間伐材の伐倒作業



集積された間伐材

過密状態にあるカラマツ林（林齢73）の生長を促すため、間伐を実施し、間伐したカラマツ材は、可能な範囲での集積を行いました。

町産カラマツ材として販売準備を進めています。

事業費	道補助金	町負担(JT支援)金
1,459,500円	992,458円	467,042円

今後は、JTとの協定期間中（H24～H33年度）に、他のエリア（積丹川流域、余別川流域）を含め、健全な森林づくりに必要となる、間伐・植樹や作業道整備などが順次実施される予定です。